

# 第15回学校水泳研究会

期日：平成27年6月6日（土曜日）午前10時～13時00分

場所：鳴門教育大学（鳴門市鳴門町高島字中島748）  
健康棟視聴覚室(E202)

主催：学校水泳研究会

後援：徳島県水泳連盟

協賛：スターテック

対象：学校水泳・水泳指導に関係するすべての方々

10:00 開会行事

10:05～10:35 学校水泳における着衣泳の普及と取り扱いの展望

（松井敦典：鳴門教育大学、野村照夫：京都工芸繊維大学）

わが国における着衣泳指導の発祥と歴史的経緯を振り返り、教材としてどのように取り扱うべきかその展望について考えます。

10:40～11:10 小・中・高・大学における遠泳実施実態についての報告

（藤原有子：川崎医療福祉大学）

水泳学習の達成課題として「遠泳」を取り上げることの意義や教育効果を検証するために実施した、実態調査の結果について報告します。

11:15～11:45 学校水泳に潜在するリスクと Water Safety をめざした水泳指導の提案（松井敦典：鳴門教育大学、野村照夫：京都工芸繊維大学）

水泳指導中のリスク要因を検討し、それを軽減するための方法について考えます。また水中安全力の獲得を主眼とした水泳指導を計画することにより、安全と学習効果を両立させた水泳指導をめざします。

11:50～12:20 「浮沈力」をつけると飛躍的に泳げるようになる

（鈴木智光：四国中央市立北小学校）

「浮き沈みをしながら呼吸を続ける力（=浮沈力）」が泳力を飛躍的に伸ばすという授業実践を紹介します。また、泳げない子の浮沈力を分析し、泳げない本質的な理由を探ります。

12:25～13:00 討論：学校水泳の今日的課題 我々がいま成すべきことは何か

（全員参加）

参加費用：無料

問合せ先：鳴門教育大学大学院 学校教育研究科

松井研究室（088-687-6520、matsui@naruto-u.ac.jp）まで

URL <http://www.naruto-u.ac.jp/~matsui/sss/ssstop.html>

資料等の準備の都合上、参加を希望される方は、予め参加者情報（氏名、所属、連絡先住所、電話、email、等：書式自由）を email(matsui@naruto-u.ac.jp) または Fax（088-687-6028）でお送りください。



**鳴門教育大学建物配置図**

自動車でお越しの方へ：

国道 11 号鳴門インター北約 1.5kmT 字路を東に倒れ、中山トンネル、小鳴門大橋経由で高島へ渡り、鳴門ウチノ海総合公園前を右折するルートが便利です。大学構内へは正門よりお入り下さり、第 5 駐車場をご利用下さい。